

| | | | | | | | | | | | |
|----------------------------|--|---------|---|-------------|----------|----------|----------|-----------|----------|-----------|----------|
| 1. 科目名 (単位数) | 子どもと言葉 (2 単位) | 3. 科目番号 | SJMP1334 SJMP1134 | | | | | | | | |
| 2. 授業担当教員 | 坂本 真理子 | | | | | | | | | | |
| 4. 授業形態 | 講義・演習 | 5. 開講学期 | 秋期 | | | | | | | | |
| 6. 履修条件・ 他科目との関係 | | | | | | | | | | | |
| 7. 講義概要 | <p>本授業では、領域「言葉」の指導の基盤となる、子どもが豊かな言葉や表現を身に付け、想像する楽しさを広げるために必要な専門的事項に関する知識を身に付ける。具体的には以下の事項について学ぶ。</p> <p>① 人間にとっての言葉の意義や機能を理解する。 ② 言葉に対する感覚を豊かにする実践について理解する。 ③ 子どもにとっての児童文化財の意義を理解する。</p> | | | | | | | | | | |
| 8. 学習目標 | <p>1) 人間にとっての話し言葉や書き言葉などの言葉の意義と機能について、説明できる。 2) 乳幼児の言葉の発達過程について、言葉の機能への気付きも含めて説明できる。 3) 言葉の楽しさや美しさについて、具体的な例を挙げて説明できる。 4) 言葉遊びなどの言葉の感覚を豊かにする実践について、基礎的な知識を身に付ける。 5) 言葉の楽しさや美しさに気付き、言葉を豊かにする実践を、子どもの発達の姿と合わせて説明できる。 6) 児童文化財 (絵本・物語・紙芝居等) について、基礎的な知識を身に付ける。 7) 子どもの発達における児童文化財の意義について理解する。</p> | | | | | | | | | | |
| 9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題 | 授業内容の理解を確かなものにするために、振り返りの小課題を課す。 | | | | | | | | | | |
| 10. 教科書・参考書・ 教材 | <p>【教科書】 秋田喜代美・三宅茂夫監修「子どもの姿からはじめる領域・言葉」みらい (2020 年 12 月) 文部科学省『幼稚園教育要領』(平成 29 年告示)</p> <p>【参考書】 厚生労働省『保育所保育指針』(平成 29 年告示) 内閣府・文部科学省・厚生労働省『幼保連携型認定こども園 教育・保育要領』(平成 29 年告示)</p> | | | | | | | | | | |
| 11. 成績評価の規準と 評定の方法 | <p>○成績評価の規準</p> <p>1. 言葉の意義や機能を理解し、説明することができるか。 2. 言葉に対する感覚を豊かにする実践について理解しているか。 3. 児童文化財の意義を理解し、説明できるか。</p> <p>○評定の方法</p> <p>授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。</p> <table border="0"> <tr> <td>1 授業への積極的参加</td> <td>総合点の 20%</td> </tr> <tr> <td>2 期末レポート</td> <td>総合点の 50%</td> </tr> <tr> <td>3 課題小レポート</td> <td>総合点の 10%</td> </tr> <tr> <td>4 日常の学習状況</td> <td>総合点の 20%</td> </tr> </table> | | | 1 授業への積極的参加 | 総合点の 20% | 2 期末レポート | 総合点の 50% | 3 課題小レポート | 総合点の 10% | 4 日常の学習状況 | 総合点の 20% |
| 1 授業への積極的参加 | 総合点の 20% | | | | | | | | | | |
| 2 期末レポート | 総合点の 50% | | | | | | | | | | |
| 3 課題小レポート | 総合点の 10% | | | | | | | | | | |
| 4 日常の学習状況 | 総合点の 20% | | | | | | | | | | |
| 12. 受講生への メッセージ | 言葉は人間に特有のものであり、私たちは言葉に拠って時空を超えた事象についても想いを馳せることが出来ます。言葉について深く考えてみましょう。 | | | | | | | | | | |
| 13. オフィスアワー | 別途通知します。 | | | | | | | | | | |
| 14. 授業展開及び授業内容 | | | | | | | | | | | |
| 講義日程 | 授業内容 | 学習課題 | | | | | | | | | |
| 第 1 回 | 領域「言葉」のねらい及び内容 | 事前学習 | 「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」を読んでおく。 | | | | | | | | |
| | | 事後学習 | 授業中に理解不足を感じた点について再度授業資料等を読み考える。 | | | | | | | | |
| 第 2 回 | 人間にとっての言葉の意義と機能 | 事前学習 | 言葉にはどのような意義や機能があるかについて考えて箇条書きにする。 | | | | | | | | |
| | | 事後学習 | 言葉の意義についてまとめ、機能について具体例を挙げて復習する。 | | | | | | | | |
| 第 3 回 | 言葉の 4 つの側面 (聞く・話す・読む・書く) | 事前学習 | 言葉のもつ 4 つの側面について具体例を挙げる。 | | | | | | | | |
| | | 事後学習 | 言葉の 4 つの側面について復習する。 | | | | | | | | |
| 第 4 回 | 乳幼児期の言葉の発達① 誕生から始語まで | 事前学習 | 乳児の「言葉の前のことば」について具体例を考える。 | | | | | | | | |
| | | 事後学習 | 乳児期の「言葉の前のことば」について復習する。 | | | | | | | | |
| 第 5 回 | 乳幼児期の言葉の発達② 一語文から二語文へ | 事前学習 | 幼児期初期 (1 歳児) の言葉の発達について具体例を考える。 | | | | | | | | |
| | | 事後学習 | 1 歳児の言葉の発達について復習する。 | | | | | | | | |
| 第 6 回 | 乳幼児期の言葉の発達③ 語彙の増加 | 事前学習 | 幼児期の語彙の増加について教科書を読んでおく。 | | | | | | | | |
| | | 事後学習 | 幼児期の語彙の増加について復習する。 | | | | | | | | |
| 第 7 回 | 乳幼児期の言葉の発達④ 複文・重文による多様な意思表現 | 事前学習 | 幼児期の言葉の発達 (発話構造の多様化・複雑化) について教科書を読んでおく。 | | | | | | | | |
| | | 事後学習 | 幼児期の言葉の発達 (発話構造の多様化・複雑化) について復習する。 | | | | | | | | |

| | | | |
|------|----------------------------|------|---|
| 第8回 | 言葉遊び① 言葉の美しさ、楽しさへの気付き | 事前学習 | 様々な言葉遊びの具体例を考える。 |
| | | 事後学習 | 様々な言葉遊びがもつ言葉の美しさや楽しさについて考える。 |
| 第9回 | 言葉遊び② 言葉の感覚を豊かにする実践 | 事前学習 | 言葉遊びの実践例を考える。 |
| | | 事後学習 | 言葉の感覚を豊かにする保育実践について、演習で気付いたことを整理して、復習する。 |
| 第10回 | 言葉遊び③ 様々な言葉遊びの保育への取り入れ方 | 事前学習 | 言葉遊びの保育への取り入れ方について考える。 |
| | | 事後学習 | 言葉遊びの保育への取り入れ方について演習で気付いたことを整理して、復習する。 |
| 第11回 | 児童文化財① 乳幼児にとっての意義 | 事前学習 | 様々な児童文化財の具体例を考える。 |
| | | 事後学習 | 児童文化財の意義について復習する。 |
| 第12回 | 児童文化財② 種類や歴史、保育への取り入れ方 | 事前学習 | 児童文化財の種類や歴史、保育への取り入れ方について教科書を読んでおく。 |
| | | 事後学習 | 児童文化財の種類や歴史、保育への取り入れ方について復習する。 |
| 第13回 | 児童文化財③ 絵本についての理解と実践 | 事前学習 | いろいろな絵本を読んでみる。 |
| | | 事後学習 | 絵本について学んだことを復習するとともに、演習により気付いたことを整理する。 |
| 第14回 | 児童文化財④ 紙芝居についての理解と実践 | 事前学習 | いろいろな紙芝居を見てみる。 |
| | | 事後学習 | 紙芝居について学んだことを復習するとともに、演習により気付いたことを整理する。 |
| 第15回 | ICTの活用について | 事前学習 | いろいろな映像資料を見てみる。 |
| | | 事後学習 | 全体を振り返り、授業中に理解不足を感じた点について再度教科書や授業資料等を読み考える。 |